～～第７５９０回～～

春埜山

～Ｈ２７.１.２５～

朝7:00に浜北Ｐに集合、1台の車に5名が乗り込み出発した。森町あまごの里に8:00に到着した。ここはあまごを養殖していて大きな池が3つばかりあった。かつて釣堀ができたが今は養殖池のみで住んでいる人はいない。道を隔てて磐田農業高校の合宿所が建っている。準備体操の後、しばらく上流へ道路に沿って歩き、「森町ウォーキングコース12選」の標識の横を登って行った。前回来た時には標識が無かった。明るい雑木林の中を進んで行くと針葉樹林となり、踏み跡のしっかりした登山道が続いていた。1時間ほど登ると春埜山の頂上に出た。見通しの利かない頂上であったが三角点があった。鉄塔のわきを通り、舗装された林道に出た。途中、イチイガシの大木と石像を寄り道して大光寺に着いた。快晴の天気の中、北側が開け南深部の山並みが見えた。東海自然歩道の案内板が新しくなっていた。遠くに白く雪をかぶった南アルプスが見えた。大光寺は立派な杉の大木があり見事な枝を張っていた。屋久島の縄文杉より立派だと絶賛した人もいた。大光寺の趣を楽しんだ後、東海自然歩道に沿って歩いて行った。途中、明るい広いところで昼食をした後、林道から外れ山道を登って行った。林道が出来き、昔の歩道はいくつか迂回していた。標識も最近建て替えられていて、東海自然歩道再構築の県の意志が見て取れる。階段状に整備された山道を行くと、931.4の鳥居沢山に出た。ここから稜線に沿って下っていった。昔は伐採された草原が広がって見通しがきいていたが、今は10年ものの檜林に成長し見通しは利かない。さらに進むと鞍部に出た。林道建設中で土がむき出しになっていた。やっと県道の平松峠に出た。ここからは、大日山金剛院へ通じる参道を歩いて行った。途中、「やまめの里１ｋｍ」の標識から旧参道を下って行った。今はほとんど利用されていないが、昔の面影が残る広い参道であった。下りきった所は橋が落ちていて、川に降り川原を歩いて渡った。そこは今朝登り始めた元の所であり、「大日山旧参道入口」の標識が建っていた。整理体操の後、浜北への帰途についた。

浜松支部　K．I